

7月	矢作川 愛護モニター報告	モニター区間	矢作川:左右岸 15.0km~21.0km
			管轄出張所:岡崎・安城出張所
実施日	令和 5 年 7 月 14 日	実施区間	15. 0km ~21. 0km左岸

## 河川敷に野生化したオニユリ

7月のモニタリングは梅雨明け間近の14日(金)、蒸し暑い日に行いました。小川橋付近から左岸堤防に入り、新幹線橋梁(15.4km)、美矢井橋(18.0km)、渡橋(20.5km)付近の3か所で車を止め、主に河川敷を観察しました。河川敷は1年で最も緑の野草が増える時期だと思います。新幹線橋梁付近で、野草群の中に鮮やかなオレンジ色の花を見つけました。堤防を下り、写真を撮りました。調べてみると、野草化したオニユリのようです。

オニユリの花びらは上に反り返り、褐色の斑点が花全体に入っています。

## ヒメジオンの群生も

ヒメジオンと思われる花の群生も河川敷公園の隅に広がっていました。

最近、桜井公民館で「矢作川(安城市)の草花」という冊子を見つけました。アイシンAWの社会貢献グループが発刊した3冊の冊子です。冊子には写真と説明の文章で、安城矢作川に生育する何百という植物が紹介されています。現在放送されているNHKの朝ドラで描かれているように、植物の名前を知ると、一つ一つの草花に愛着がわきます。矢作川では実に多くの草花を見つけることができますが、まだまだ名前も知りません。貴重な生態系を作り出す矢作川の草花をもっと知りたいと感じた今回のモニタリングです。



① 野草が密集する新幹線橋梁付近



② 野生化した色鮮やかなオニユリ



③ 丈の高い草の陰で咲くオニユリ



⑤ 美矢井橋から見た豊かな野草群



④ 河川敷き一面に広がるヒメジオン